

親子で体験、  
災害に備える

甲賀広域行政組合水口消防署は11月23日、防災フェアを開催しました。訪れた親子などが、起震車体験や煙体験などをし、災害が起きた時の行動について署員からアドバイスを受けました。また、人気アニメソングなど消防音楽隊による演奏のほか、着ぐるみのダンスなどが披露され、子どもたちも大喜びの様子でした。火気を多く使う季節です。ご家庭でも火の取り扱いには十分ご注意ください。



▲会場を盛り上げた演奏と手作りの消防車

防災フェア

秋の自然を楽しむ

ニンニン忍者  
おやこ秋キャンプ

市教育委員会が主催する「ニンニン忍者 おやこ秋キャンプ」が11月23日、水口スポーツの森で開かれ、親子22名が参加しました。自然の中から見つけたもので読み札と絵を作成する「じゃんぼかるた作り」など、自然を取り入れた遊びを体験し、「森の音楽会」では、日本では拍子木として定着しているスペインの楽器「フラベス」を作り、歌に合わせて演奏しました。昼食には野菜たっぷり「忍者鍋」もふるまわれ、紅葉の中、芸術の秋、食欲の秋を満喫した一日となりました。



▲じゃんぼかるた作り [㊦] 笑顔がいっぱい秋の森

鍋を囲んで味わい、学ぶ

水口小学校 全校なべ大会

水口小学校恒例の「全校なべ大会」が11月25日、開かれました。6年生が中心になり、調理や火おこしを担当。スクールガードなど日頃学校でお世話になっているボランティアの方を招き、感謝を込めて手作りの鍋をふるまいました。会食前に行われる「なべ集会」では、ゲームを通してなべの食材やその栄養について学び、野菜を主人公にした創作劇も上演されました。具材には、学校農園で栽培された大根や水菜などのほか、体験農園で収穫した餅をふだんに使いました。総勢630名が寒空のもと、湯気に包まれて鍋を楽しみました。



▲手作りの鍋をふるまう児童

油日神社が時代劇の舞台に

NHK大河ドラマ  
「平清盛」市内ロケ

2012年NHK大河ドラマ「平清盛」の撮影が9月から市内で行われ、11月16日には甲賀町の油日神社が舞台となりました。同神社の建物は400年以上前のもので、国の重要文化財に指定されており、建築様式、雰囲気平安時代末期の雰囲気を醸し出しています。境内には、清盛役の松山ケンイチさんと妻・明子役の加藤あいさんが神社にお参りをする場面を中心に撮影されました。この場面の放送予定は、第11回(平成24年3月18日)です。



▶撮影が行われた油日神社本殿

日本の音楽の良さにふれる

水口曳山祭での水口囃子を体験できる教室が12月4日、碧水ホールで開かれました。

水口囃子の伝承を目的に活動されている水口囃子の皆さんの指導のもと、参加した小学生17名が、鉦や小太鼓の演奏に挑戦しました。

水口囃子は、場面に合わせて曲が変わるなど変化に富み、演奏がたいへん難しい囃子とも言われます。教室では、平坦な道をゆっくりと巡行する時に演奏される曲を、楽譜などを使わず、音を言葉で伝えるという昔から伝わる方法で学びました。参加した子どもたちは、音の強弱やリズムに苦しみながらも、皆で息を合わせて演奏することを楽しんでいました。



▲水口囃子に挑戦する児童

「顔」をテーマにした  
ランプシェードが並ぶ

県立陶芸の森信楽産業展示館で、「岡本太郎と信楽展」の関連企画として、光を透過する光性陶土を使用した「信楽透器」の作品展が開催されています。信楽小学校6年生63名が、総合学習の一環として信楽焼や、信楽に関わりを持つ岡本太郎について学習を重ね、同氏の作品の特徴である「顔」をテーマにしたランプシェードを作成しました。会場には様々な表情のランプシェードが並び、青やオレンジなどの光を包む児童の力作が並んでいます。

会 期：12月18日(日)まで(月曜休館)  
開場時間：9時30分～17時  
※入場無料 (入館は16時30分まで)

◀作品に見入る信楽小学校児童

信楽透器作品展

